

農政連だより

みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

12
月号
No.240

主な内容

- ・生産部会長、中核農家代表、
県青協専門部会代表合同会議
- ・JA 菊池女性部活動報告
- ・ガンバッテいます：鈴木直
さん、工藤寿恵さん
- ・各連合会からのお知らせ

泗水孔子公園（菊池市：写真提供 熊本県）

初代村長が儒教に造詣が深く、孔子の生誕の地「泗水」の名をこの地に付けられた。この名が付けられ100年の歴史を刻んだことを記念して、中国から建築家を呼び、当地の材料で築造されたものであり、平成4年に完成した。

わがわが

今年も年の瀬を迎えた。一年が過ぎるのが、とにか早く感じるのは、年を重ねたせいだろうか。しかし、この一年、いろんなでき事があった。

本年も「現代用語の基礎知識」選による二〇〇九年新語・流行語大賞のベスト一〇が発表された。

その第一位が、八月三〇日に実施された第四十五回衆議院選挙で民主党が圧勝し、民主党中心の鳩山政権が発足した「政権交代」である。

「実に国民の絶妙なバランス感覚の結果である。民主党の三百九議席は衆議院三分の二の議席には、十二議席足りず、自民党の百十九議席は、改選前の民主党の議席を六議席上回っている。つまり民主党の政権運営で失政があれば、いつでも政権交代が可能ということでもある。」と、岩井奉信氏（日大教授）は分析する。

そしてその他には、鳩山政権のキャッチフレーズでもあり、政治主導を貫くための「脱官僚」が選ばれた。更には、インターネットでも公開された、国や地方公共団体の事業の必要・不要等を、民間人を含めた仕分け人で行なわれた「事業仕分け」が選考される等、実に政治の世界から三語が選ばれている。

その他には、自動車の「コマーシャルで、人気を呼んだ「子供店長」、更に今なお猛威をふるい、そのフクチン不足が深刻化している、「新型インフルエンザ」が選ばれた。

更に、協調性が高く家庭的で優しいが、恋愛等には積極的ではない、四〇歳前後までの若い世代の男性を、女性コラムニストが命名した「草食男子」。これに対し「肉食男子」が漏れたのは、現代の世相を反映しているのだろうか。

その他には、「派遣切り」「ファストファッション」「ぼやき」「歴女」が選ばれている。
さて、来年はどんな年になるのだろうか。

生産部会長・中核農家代表らを集め、農政問題を協議

10月2日、熊本市内で農政連主催の合同会議を開催し、県内の生産農家の代表や県青協専門部会代表など約50名に参加していただき、農業の現状と課題について協議した。



安武副委員長が開会の挨拶、つづいて全中の松岡公明氏より「農政改革と地域農業マネジメント」と題して講演をいただいた。

その後、〈水田営農〉、〈畜産・酪農〉、〈野菜〉、〈果樹・特産〉の4分科会に分かれて、それぞれの現状と課題について熱心な討議を行った。

その後、全体研修の会場に集合して、各分科会で討議した内容を各座長が発表して会議を終了した。

〇「農政改革と地域農業マネジメント」

〔抜粋〕

1. 世界的な食料問題と農産物問題

▼世界の穀物需給は、いま不足基調であり、力ネさえ出せば食料が買える時代ではなくなりつつある。

▼輸出国の自給率が高いのは、国際競争力ではなく、手厚い農業保護の結果である。日本の貿易の自由化についても食料安全保障、国土保全、地域社会の崩壊など長期的に失うもの大きさを含めて、総合的に勘案すべきである。

・日本農業も消費者という支持基盤がなければ存続しない。

2. 政局と農政の見直し

・自民党から民主党へ政権が変わったことで、これからの農政問題については政局本位ではなく政策本位で取組む必要がある。

・マニフェスト選挙は、有権者が喜びそうな「努力目標」を並べているにすぎない。これらの施策に対して「現場主義」でどのように注文を付けていくかが大事である。

・日米FTA交渉については、原則関税ゼロの交渉であり、関税削減交渉のWTOより影響が大きく非常に危険性ををはらんでおり、慎重に対応すべきである。

・民主党の農業者戸別所

得補償制度について民主党の説明から考えると、生産目標に従って販売する農業者に対して、生産費と販売価格の差額を補填する内容になっている。(米、麦、大豆など重要品目が対象。野菜、畜産などは対象外)

【基本単価＝保障される価格水準＝標準的な販売価格】

・力ナダには、収入保険制度があり、農家収入を補償する制度がある。

・集権的・画一的な農政から分権的・地域重視のボトムアップ型の農政に切り替えていく必要がある。政府の全国一律的補助金システムでなく、地方自らが税金を地域経済振興のために戦略的に使い、創意工夫を競い合う時代

〇分科会の意見

この会議で取りまとめられた意見等については、平成22年度農政政策・予算に関する要望書

であり、税金を地方が自由に使える制度(選べる制度)に変えていく必要がある。

3. 地域マネジメント

・自らの地域農業の構造問題を認識して、どういった地域農業に再編していくのかが大事である。それに伴ってどういった手・経営体を育成していくかが大きな力ギとなる。

シユンペーターが定義した5つのイノベーション

- ・新しい生産物または生産物の新しい品質の創出と実現
- ・新しい生産方法の導入
- ・新しい買い付け先の開拓
- ・新しい販売市場の開拓
- ・新しい買い付け先の開拓

に盛り込むこととし、全政党へ同要望書を提出するなど強く働きかけを行った。



▲農政連総支部やJA連合会・専門連も参加



▲講演をする松岡氏



▲開会の挨拶をする農政連安武副委員長

水田・営農

1. 認定農業者や集落営農など、地域実態に即した担い手の確保・育成をすすめる。また農地集積を推進するため、新たな農地の流動化や面的集積が進む対策を講じること。
2. 新たな米政策では、地域水田農業ビジョンの実践、生産調整の着実な推進等を指導・支援する。そして、需給調整対策の実施にあたっては、公平性を確保すること。
3. 新たな自給率向上作物（米粉・飼料用米、麦、大豆）の定着化のため、生産拡大・流通等支援、及び乾燥調整施設の整備・補修に対する支援を図ること。
4. 消費拡大運動と地産地消による米飯給食等の利用拡大への支援。また米粉等の新たな需要拡大に対する支援を図ること。
5. 農家が理解し易く、農家が意欲を持つて取り組める政策を確立すること。



畜産・酪農

1. 酪農生産基盤の確立を図るため、乳用種の性別別精液について国からの助成を講じること。
2. 消費低迷により、生乳生産量の維持・拡大が困難な状況にあるため生乳のPR等を強化し、消費拡大に対する支援を図ること。
3. 土地利用型酪農の実践を推進するため、自給粗飼料の生産に対する助成措置を講じること。
4. 再生産可能な鶏卵相場の安定化を図るため、価格安定対策事業の継続・強化と消費拡大事業の充実・拡大を図ること。
5. 繁殖子牛補給金制度の補償基準価格の引上げを図ること。
6. 国内の穀物、野菜、果樹などの未利用資源（食品残渣等）について、畜産飼料として有効活用（エコフイード）するため支援対策の促進を図ること。



野菜

1. 生産コスト高と価格の低迷で農家所得は低下しており、野菜価格安定制度の拡充と野菜再生産価格保証制度の創設を図ること。
 2. ハウス施設の建替え、新築の場合のリース事業の補助では、産地が取り組み易い補助事業を講じること。特に、ハウス導入等では、新たに担い手を育てるための補助事業の強化を図ること。
 3. 選果場建設並びに更新のための補助事業の条件緩和を図ること。
 4. 安全・安心と合わせた国・県産野菜のPRによる消費拡大への支援を図ること。
 5. 新品種・新技術の開発・導入をすすめるための支援を図ること。
 6. 競争優位を旨としてブランド統一マークを設定したことから、出荷や輸出等のマーケティング対策の支援を図ること。
 7. 原油高騰による急激なコスト上昇に直接対応するセーフティネット対策や、生産コストの増大に着目した経営安定対策を早急に確立すること。
- （全体）
1. 後継者不足は大きな課題であることから、国を挙げて後継者を育てる対策及び農業に夢（魅力）を見出せる政策を実施すること。



果樹・特産

1. 集出荷施設等の建設並びに更新のために、緊急対策事業が計画通りに実施されること。
 2. 果樹においても戸別所得補償制度に準じる経営安定のための対策を講じること。
 3. 果樹共済制度を強化し、再生産価格を基準とする改善策を講じること。
- （特産）
1. 輸入時の関税検査の強化を図るために、DNA鑑定機器を導入して、「ひのみどり」品種の不正輸入防止対策の強化を図ること。
 2. い草ハーベスターの生産中止により、刈取機の更新が困難となつているため、同機械の生産再開と價格的支援を図ること。
 3. 鳥獣害防止対策の充実強化を図ること。連坦団地の規定などでは、中山間地域等では厳しい条件となつており、地域の実態にあつた助成対策を講じること。
 4. 茶の生産対策として、生産資材費の助成措置や制度資金の償還期限延長・貸付条件緩和などの対策を図ること。
 5. 茶需要拡大に向けて、茶の利用などの食育推進や、茶の効能の認知度を高める運動などの支援を図ること。



女性部活動報告

■ JA 菊池女性部活動報告 ■

JA 菊池女性部は8中央支所に支部があり、会員は2,506名で、それぞれの支部で活動を行っています。

〈サマーレディースクール&家の光大会〉

平成21年度、最大のイベントは8支部女性部員が1会場に集まる「サマーレディースクール&家の光大会」です。今年には「女と男の素敵な関係」と題して、フリーアナウンサーの広瀬久美子さんの講演と家の光記事体験発表を2名の方が発表し、700名の会員で会場は一杯になりました。

〈女性大学〉

女性大学の1回目は「早期発見！女性特有の病気」自分のからだは自分で守る」というテーマで、健診を受診する大切さ、自己診断の方法を学び、その後レインボー体操でからだを動かしました。2回目は「散歩とウォーキングどう違う？」プロが教えるシェイプアップウォーキング」と題し、実技を通して歩き方、靴の選び方

を学びました。そして、3回目は「ウォークラリー大会 in 合志」を11月23日に開催し、合志市にある竹迫城周辺をクイズやゲームをしながら楽しいウォーキングになりました。

〈ふれあいの旅〉

また、JA 菊池女性部のふれあいの旅は6月にハワイ6日間の旅を催行。約40名が参加してハワイ文化を満喫、楽しい思い出になりました。2月のイタリアの縦断7日間の旅は、150名を超える申し込みがあつています。

そのほか助けあいの会、フレッシュユミス、農産物市場、きくちのまんまに出荷する女性部員でつくる「まんま倶楽部」の活動など、元気一杯に活躍しています。

JA 菊池女性部はとにかく元気！女性ひとりひとりが輝き、ワクワクするような活動と、仲間づくりを目指します。



▲フリーアナウンサーの広瀬久美子さんの講演



▲家の光記事体験発表をされる上田さん



▲サマーレディースクール&家の光大会で挨拶する福嶋女性部長



▲プロが教えるシェイプアップウォーキング



▲シェイプアップウォーキングの実技風景



▲健診の大切さを訴える厚生連講師



鈴木 直さん
JA鹿本

JA鹿本の鈴木さんのお宅を訪問しました。

鈴木さんは、昭和12年5月生まれ。県営伝習農場を卒業して、家業の農業を継がれました。

これまでシイタケ栽培や林業など、地元の利を生かして、農林業の仕事をやってきました。

その間、地元の世界役を永く続け、平成20年の全国育樹祭では、特用林産功労表彰をいただいたそうです。

現在は、水稲2haを栽培、繁殖牛7頭を飼育しています。

■採種事業の取組み

菊鹿町は、寒暖の差がある気候を活かして、おいしいお米が取れます。

この地では、以前から採種事業が盛んであり、平成12年には、農業総合事業として、種子専用コンバインの導入や乾燥施設を造るなど、良質の種子が取れるように改善。工夫を

続けています。

現在もこの地では、県主要農作物改良協会の指定を受けて、115haほど「森のくまさん」「アキマサリ」「アノヒカリ」「アノヨクモ子」の優良種子の栽培を行っており、JA熊本経済連に出荷しています。

採種事業の部長として事業の発展に貢献して来られましたが、19年3月の100周年式典を期に部長を交代されました。

■タケノコの出荷

現在は、タケノコ部長として頑張っています。

タケノコの出荷取り作業は、12月を皮切りに、5月頃まで続きます。

JA全農の話では、以前は、国内の食品メーカーのタケノコは、大半を中国からの輸入に頼っていたそうです。しかし、中国製ギョウザ中毒事件などの影響を受けて、メーカーも国産のタケノコの安全性や味に注視、外国産のタケノコを敬遠するようになったそうです。これを受けて、国産タケノコの需要が高まってきており、タケノコの産地である九州など国内のタケノコの産地では、出荷の時期が来ると、大忙しです。そこで、菊鹿町の選果場では、タケノコの選別機を導入して、生産者の選別の手間を省き、労力軽減と品質の均一化を図っています。

「最近では、全国からの注文も多くなり、取引キロ単価も上昇、農家収入も増加するなどうれしい限りです」と話していただきました。

■好きな言葉

農魂 「伝習農場の工藤場長が農業をやるからには、不屈不撓の精神が必要である」といつも話しておられた。「とお聞きしました。



工藤 寿恵さん
JA阿蘇フレッシュミズ高森支部

■宮崎から参りました

工藤さんは宮崎県出身。高千穂町の茶業農家に生まれました。その後アルバイト先でご主人と知り合い、十二年前にめでたく結婚。今では三人の子供に恵まれ、高森町で暮らしています。

■たくましさお嫁さま

工藤さん宅では、両親が、米・ハハ、たばこ・ハハ、繁殖牛七頭の経営をしています。

「嫁に来て本格的に農業をやるようになるまでは、時間がかかりました。でも、がむしゃらに頑張ってきました。」

子供が小さいころはおんぶしながら仕事をしていました。それでもごきぎの日は一日のうち数時間。今では子供も成長し、家族の協力もあって、自由に動けるようになりました。

「主人はJAに勤めているので、普段の手伝いは奥様の工藤さんがしています。」

「最初はただ言われた事を見れば真似

でしていましたが、少しずつ流れが分かり、色々できるようになりました。」
今では、刈り払い機の扱いもなれたもの。楽しむ余裕もでき、立派な筋肉マンになりました。

■フレッシュミズでの活動

工藤さんはJA阿蘇フレッシュミズ高森支部に入会して二年目。実は高森支部自体も結成して二年目です。ライブプラン・セミナーで、青壮年部員の奥様同士が知り合いになったことがきっかけで結成されました。現在七名の部員で活動されています。

高森支部で活動するのは十一月から三月まで。それ以外の期間は、皆忙しい為活動していません。参加できる人は女性部の活動に自由参加する形にしています。

「楽しみにしているのは十一月にある米粉の親子料理教室です。色々なレシピを集めて準備しています。」

また一月と二月は絵本の読み聞かせ講習を予定しています。部員の子供は小さい子ばかりなので、一緒に参加でき、子供も楽しめるような活動を常に考えています。

■今後の抱負

工藤さんは今後の抱負として、

「部員、活動を増やすこと。農家でない人もぜひ参加してもらって、交流の機会を増やしたい。また、無理なく皆が集まれるような活動を目指したい。」と話されました。

『熊本農業と地域の再生に向けた
新たな協同の創造』を旨指して

～第23回 J A 熊本県大会～

J A 熊本中央会と J A グループ熊本は12月4日、『熊本農業と地域の再生に向けた新たな協同の創造』を掲げ、熊本市で「第23回 J A 熊本県大会」を開き、J A 連合会代表者及び県立農業大学校生100人も加わり、200人が結集しました。

県下 J A グループの目指すべき重点実施事項3項目を柱とする大会議案、



▲「新たな協同の創造」を旨指し挨拶する園田会長

それに特別決議や大会宣言等を採用しました。

主催者を代表して園田俊宏 J A 熊本中央会会長は「厳しい環境が続いている中で、我々は J A 経営の確立をすすめる。新たな協同の創造」を提案した。一人ひとりがこの方向に確信をもって邁進していただきたい。」と挨拶し、新たな協同の出番を強く訴えました。

大会では、上村幸男 J A 経済連会長が議案を説明し、3人の代表が①生産者と消費者を結ぶ地域農業の復権② J A の総合性発揮による地域の再生③協同を支える J A 経営の確立の3つの重点実施事項を柱とする議案を意見表明し、満場一致で決議しました。

その中で、地域農業の復権では、県農畜産物統一ブランド販売の実践的展開、農商工連携等。 J A の総合性発揮では、「 J A ぐるしの活動」の積極的な展開等。また J A 経営の確立では、 J A グループの事業伸長と効率経営に向け「県域戦略」の策定・実践を進めます。

特別決議では、「日本の食・農業・農村を守るため、一致団結して、国民の理解と協力を求める農政運動を展開する」とした3項目を決議しました。

また、大会宣言では「ネットワークを構築し『新たな協同』を創造し、機能発揮していく」ことを採択。記念講演では、東洋大学名誉教授の服部信司氏が W T O 農業交渉等について講演しました。

クミアイプロパン絵のコンクール熊本県大会表彰式

J A 熊本経済連は11月14日、熊本市内のホテルで平成21年度クミアイロパン絵のコンクール熊本県大会の表彰式を行いました。小学生の作画を通して、家族ぐるみの保安の重要性、クミアイプロパンへの関心を高めるのが目的。

県下5 J A、21小学校から770点余りの出品があり、熊本県図画工作美術教育研究会へ審査を委嘱し、低学年・中学年・高学年に分けて実施。特選9点、佳作12点が選ばれました。

各部門の特選受賞者は次の通り。なお特選については全国大会に出品します。

- ▽低学年の部 Ⅱ 岩根かえで（両併小1年）、高橋まほ（産山小2年）、北川ほのか（菊水中央小2年）、▽中学年の部 Ⅱ 白石帆（高森東小3年）、松本陽香（大浜小3年）、後藤史奈（蘇陽小4年）▽高学年の部 Ⅱ 芹井美緒（産山小5年）、田上千恵（大道小5年）、村上大悟（菊水中央小5年）

▶特選受賞者のみなさん



KUMAMOTO「食うぞ、まるごと、もりもり、と」CM作成



J A 熊本経済連と熊本県農畜産物販売強化本部は、このほど、俳優の武田鉄矢さんを熊本農畜産物のイメージキャラクターに決定。テレビCMを製作し、12月より県内の民放各局で放映します。同経済連は、これまで県産農畜産物を広く普及・浸透させる P R 活動をしているが、今回武田さんを CM に起用し、マーケットの拡大を目指します。武田さんは、ご両親、夫人の節子さんが熊本出身ということで、熊本に大変縁が深いです。

CM は、熊本県農畜産物統一ブランドマークの「 KUMAMOTO 」を武田さんが子供たちと一緒に、熊本農畜産物を「食うぞ（ K U ）、まるごと（ M A ）、もりもり（ M O ）と（ T O ）ーと、阿蘇の自然の中で元気に訴えます。

武田さんは、「きれいな水と豊かな自然で育った名産品を P R する役を仰せつかり、大変光栄です。熊本バンザイ！」と今回の出演への意気込みを語りました。

同経済連上村幸男会長は、「くまもとが一つになり、統一ブランドマークを旗印として、心ひとつに結集し、『くまもと産』を P R していきたい。」と力を込めました。

アンパンマンが天草にやって来た！

「JA共済わくわくアンパンマンキャラバン」開催！

去る、11月3日（文化の日）・4日の2日間にわたり、JAあまくさ管内において、「JA共済わくわくアンパンマンキャラバン」を開催しました。

この「アンパンマンキャラバン」は、ニューパートナーとのふれあい活動とJA共済加入者サービスを目的として、全国を巡回しながらイベントを行っており、県下では昨年に続き2回目の実施となりました。

イベント当日は天候にも恵まれ、3



ショー終了後には、アンパンマンたちとの握手会に長蛇の列ができ、アンパンマンたちとの握手に歓喜する子どもたちや、その笑顔を写真に納める親御さんたちで、みんな笑顔で幸せいっぱい、大盛況のキャラバンとなりました。

JA共済では、このような「アンパンマンキャラバン」などのイベントを通して、今後も地域のみなさまとのつながりを大切にしていきます。



耕地利用率は92.6%

2005年の耕作放棄地の面積は2000年に比べ、4万ha以上も増加し、38万5,700haとなりました。近年では増加率が鈍化しているものの、耕作放棄地の総面積は耕作地の

8%にまで達しています。以前は100%を超えていた耕地利用率も2007年には92.6%にまで落ち込んでいます。その原因として高齢化によって農業経営の存続ができなくなったことや、輸入農産物の増加による需給バランスの崩壊等があげられます。しかし、輸入農産物を国内ですべて生産するとしたら、1,200万haもの農地が必要と試算され、これは国土面積の3分の1に相当します。

こうした状況の中で、JAグループでは農地の有効活用としてJAが経営主体となるJA出資型農業生産法人やJA農業経

営を行い、農地の受け皿となる場合については、地域農業の維持・振興とJA経営のバランスを考慮した農業経営を実施しています。また、小規模農家・兼業農家・中山間地域等の農家についても、ニーズに応じて共販の強化、直売所への出荷の組合的対応など、多様な農家をJA事業の中心に位置づけ、引き続き支援していきます。

参考：「世界と日本の食料・農業・農村に関するファクトブック2009」第25回JA全国大会「組織協議案」について

「よい食クイズ」
Q・沖縄県では6月に稲刈りが行われる。
ウン？ ホント？



←正解は裏面へ

あどがき

● 花の少ないときに、蟬細工のような透き通った感じの花が咲き、とてもいい香りがする。



十二月に咲く花【蟬梅】

蟬細工のような光沢と透明感のある花の姿が、ウメ(梅)に似ていることから、蟬梅と呼ばれている。

この花からは想像もできない形の実がなり、種まきから育てられる樹種です。晩秋に種まきをして、春の発芽を持つのも楽しみです。

(花ごとは) 慈愛

ロウバイ科 落葉低木 中国

● 盟友の皆様のご意見や周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本・支所）へお寄せいただければ幸いです。

連絡先 熊本県農政連

電話 0996-3281-2884

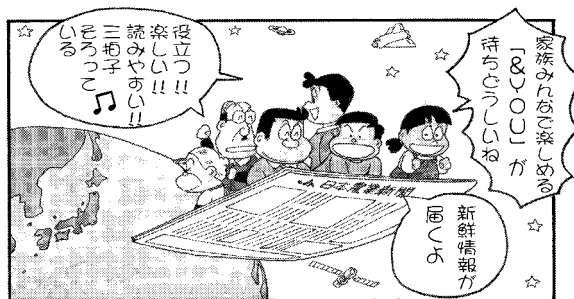
FAX 096-3261-5807

食と農 ひらく未来へ確かな目



「食と農のかけ橋」面を創設

食のニーズ、消費者の声を正しくとらえて産地へ価値ある情報を発信します。月曜日から金曜日まで終面カラーで届けます。



紙面を刷新▶情報を素早く分かりやすく

役立つ情報を毎日▶農産物市況予測を充実・農業の実用記事を満載、気象見通しを強化

JAグループ

日本農業新聞

購読のお申し込みはJAへ 定価1か月2,550円

JA熊本中央会



あなたの老後に光を灯す
たしかな年金があります。



豊かな老後の安心に、
増える楽しみがついてくる。

ずっとサンキューキャンペーン実施中!
<http://www.3qja.jp>

予定利率変動型年金共済
ライフロード

●詳しくは、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。
■ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp>

09481050168

【よい食クイズ】

答え：ホント

稲刈りと言えば「実りの秋」の象徴とも言える光景ですが、温暖な気候の沖縄県八重山諸島では、初夏の6月に稲刈りのピークを迎えます。沖縄本島でも7月には刈り取りが終わってしまいます。

早く刈り取ることは、秋にやってくる台風を避けるうえでも都合がよいのです。

JA全中発行「ごはんちゃんのお米クイズ(生活編)」より転載



持ち運びやすく、使いやすい

10kg 小袋包装 農家のプロが推薦する園芸肥料

やさい・果樹・花卉・鉢物すべてに対応

有機配合エコ肥料 エコファームシリーズ

| | |
|--|---|
| <p>ニューパーフェクト有機 有機100%</p> <p>N P K 6 8 4</p> | <p>エコ有機 オールエイト 有機52%</p> <p>N P K 8 8 8</p> |
|--|---|

